

所 属	都市建築部下水道課		
担当(係)名	事業担当	内線	3154

各務原浄化センターの汚水処理施設整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,704,000	国庫 1,117,500	工事請負費 1,623,000
(前年度 1,934,000)	県債 293,100	委託料 81,000
	負担金 293,250	
	繰入金 150	

2 背景・現状

木曾川及び長良川流域の4市6町の汚水を広域的に処理する木曾川右岸流域下水道は、関連市町の下水道管施設整備が進み、各務原浄化センターへの流入汚水量は着実に増加している。

3 事業目的

清潔で住みよい都市環境と住民の生活環境の改善を図るとともに、河川や海における水質の向上により良質な自然環境の保全を図るため、各務原浄化センターの汚水処理施設の整備を進める。

4 事業概要

事業計画に基づき、流入汚水量の増加に対応した施設の増設、耐用年数を経過した施設の更新や施設の耐震化を行う。

○増設

(工事) 水処理施設、放流ポンプ棟施設

○更新

(工事) 水処理機械・電気設備、管理本館電気設備、受配電棟電気設備、流入ポンプ棟電気設備、放流ポンプ棟電気設備、送風機棟電気設備

(設計) 長寿命化計画策定に向けた処理場施設・下水道管の調査

○耐震

(工事) 水処理施設、汚泥機械濃縮棟、放流ポンプ棟

(設計) 水処理施設

<事業計画>

事業名：木曾川右岸流域下水道事業	事業期間：昭和49年～
対象市町：岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町	
計画処理面積：17,540ha	計画処理水量：249,500m ³ /日
計画処理人口：456,720人	

<整備状況>

平成23年度末における各務原浄化センター処理能力186,000m³/日
 整備対象区域内人口普及率 H20末 75.4% H21末 76.8% H22末 約78%(見込)

(款) 1 流域下水道事業費 (項) 1 建設費 (目) (1) 建設費
 (明細書事業名) ○公共事業
 建設費